【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第１区分
【発行日】平成22年8月19日(2010.8.19)

【公開番号】特開2009-274061(P2009-274061A)
【公開日】平成21年11月26日(2009.11.26)
【年通号数】公開・登録公報2009-047
【出願番号】特願2009-38276(P2009-38276)
【国際特許分類】
Ｂ０１Ｊ　37/00　　(2006.01)
Ｂ０１Ｊ　29/40　　(2006.01)
Ｂ０１Ｊ　29/48　　(2006.01)
Ｂ０１Ｊ　35/10　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ０１Ｊ　37/00　　Ｆ
Ｂ０１Ｊ　29/40　　Ｚ
Ｂ０１Ｊ　29/48　　Ｚ
Ｂ０１Ｊ　35/10　　３０１Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成22年7月5日(2010.7.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
メタロシリケート含有原料を微細化して得た累積度数５０％で１．０μｍ以下の粒子からなる触媒粉を含んだスラリーをスプレードライ法によって乾燥して触媒の造粒体を得ることを特徴とする触媒の製造方法。
【請求項２】
前記微細化はビーズミルによって行うこと
を特徴とする請求項１に記載の触媒の製造方法。
【請求項３】
前記スラリーをエージングした後にスプレードライ法によって乾燥すること
を特徴とする請求項１または２に記載の触媒の製造方法。
【請求項４】
前記エージングは常温常圧の空気雰囲気のもとで前記スラリーを静置させること
を特徴とする請求項３に記載の触媒の製造方法。
【請求項５】
前記メタロシリケート含有原料は実質的に４．５～６．５オングストローム径の細孔を有するメタロシリケートを含むこと
を特徴とする請求項１から４のいずれか１項に記載の触媒の製造方法。
【請求項６】
前記メタロシリケートは、金属成分として、レニウム、バナジウム、モリブデン、タングステン、クロム及びその化合物から選ばれた少なくとも一種類以上が担持されたこと
を特徴とする請求項１から５のいずれか１項に記載の触媒の製造方法。
【請求項７】
前記モリブデンの担持量は前記触媒粉の全体量に対して２～１２重量％であること

を特徴とする請求項６に記載の触媒の製造方法。
【請求項８】
前記スラリーに前記金属成分を添加することで、前記メタロシリケートに対して前記金属成分を担持させること
を特徴とする請求項６または７に記載の触媒の製造方法。
【請求項９】
前記スラリーにポリビニルアルコールを添加すること
を特徴とする請求項１から８のいずれか１項に記載の触媒の製造方法。
【請求項１０】
前記触媒は低級炭化水素から芳香族化合物と水素を生成するための触媒であること
を特徴とする請求項１から９のいずれか１項に記載の触媒の製造方法。
【請求項１１】
請求項１から１０のいずれか１項に記載の製造方法によってなることを特徴とする触媒。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
そこで、前記課題を解決するための触媒の製造方法は、メタロシリケート含有原料を微細化して得た累積度数５０％で１．０μｍ以下の粒子からなる触媒粉を含んだスラリーをスプレードライ法によって乾燥して触媒の造粒体を得る。